



町政懇談会終了

住んでいて良かったと思えるまちへ

12 自治会で開催した町政懇談会の意見を反映することを目的に毎年開催しています。

今年は7月10日から8月20日までの期間で開催し、155名の方に出席していただきました。

懇談会では、地域の課題や町への要望、大雨被害への対応についてなど、多くのご意見・ご要望をいただきましたが、この誌面では、特に全町に共通するものについてご紹介します。

(Qは問、Aは回答説明です)

Q ゴミ処理の負担金を町民に求めていかないと負担が大きくなってきているので、将来的にどのように考えているのか。ゴミを減らしていくためにも有料化もやむを得ないのかなと思う。

A ごみや大型ごみの処分料金も検討していく必要があり、幅広く検討して、随時、相談させていただきます。

Q アライグマ講習は地域に来てもらって開催してくれるのか。

A ある程度の人数が集まる日に合わせて、講師(産業振興課職員)を派遣できますので、可能です。

Q 自治会の補助金の今後の方向性を聞きたい。自治会自体の運営方法も考える時期にきている。自治会によっては余剰金もあると思うが、補助金が減ると今後、厳しくなってくると思う。

A 平成30年度に補助金見直しをして、従来あった納税報償金を減額しながら、来年度、納税報償金の分は無くなります。その後は5年後ごとに見直しをしていくことになる。各自治会においても自治会の特性を守りつつ、自治会の規模にあった運営方法のあり方を検討していただき、ご意見いただきたいと思っています。今回の補助金の減額は段階的になっていきますが、その時々にあった意見を伺いながら対応させていただきます。

Q 水道料金の見直しについて教えてほしい。

A 料金改定については、平成13年から見直しは行っておりません。これから安定して供給するために、相対的に、現状にあった見直しをしながら、来年4月から改定するようなスケジュールで町民の方へ周知していく準備をしていきたいと思っています。

Q 高齢者安心見守り通報システムの固定型を設置する場合の料金や設置するための手続きを教えてください。

A システム利用は、高齢者でひとり暮らしの方などで、固定電話をお持ちの方が対象となります。回線固定型は現在、無料で貸し出していますが、今後、料金の見直し(有料)を考えています。手続きは保健福祉センターに申請書を提出する際に、緊急時に駆けつけてくれる協力員(2名)を申請書に記入していただくこととなります。地域でも周知していただき、情報を広めていただければと思います。

Q 夫婦岩周辺整備の進捗現状と今後の課題はどのように考えているか。

A 8月10日にはフットパスを实施了しました。将来的には車椅子の方や高齢者の方が夫婦岩まで登れるようにするためには道路改修が必要になってきます。国や道などの財源確保も並行して中期的に検討いく必要があると考えています。塩狩周辺と一連して限られた予算範囲で整備していきたいと思えます。

Q こどもに何かあれば、すぐ旭川の病院へ行く。例えば、自分が救急（脳梗塞など）の場合も町立病院に寄らないで、直接、旭川の病院に搬送してほしいと思っています。これだけ町の一般会計で病院経費を負担しているのであれば、コスト削減や規模縮小していてもいいのかなと思う。

A 規模縮小せざるを得ないと思っています。また、医師や薬剤師など医療技術者の確保が難しい状況です。規模縮小すると現在の体制を維持できない分野が出てきま

すので、しっかりと検討していく必要があると思っています。

Q 新しく使う土取場の面積と用途は。

A 土地は全体で約3ヘクタール、土質検査や土壌分析を活性化センターで実施して問題ないとのことでしたので、客土用に使していきたいと考えております。

Q 救急要請をした時、名寄に搬送されるのは疑問に思う。旭川に搬送するのがいいのではないか。

A 救急患者が発生した場合は、まずは一次救急として自治体病院（町立病院）が診る、二次救急は名寄に搬送するルールとなっておりますが、実態はその多くが旭川へ搬送、5%が名寄に搬送しています。

Q 国民健康保険税に含まれている介護納付金は、何歳まで賦課されるのか。

A 40歳から64歳まで対象となりますので、65歳以上からは賦課されません。

Q 子どもを大事にする施策を打ち出して実行している町は人口も増えている。

A 町に魅力のあるものがあれば、町にも潤いが出ると思うが、何か今後の展望はあるのか。

A 秩父別町や上士幌町は、子どもに対する施策が充実しており、近隣市町村などから引っ越ししてきて人口が増加しているようです。

A 本町においては、将来を担う子ども達に対する施策や住みやすい環境施策など、今後もしっかり考えていく必要があると思っています。

Q 和寒町はスポーツ施設が充実している。今年春、生涯スポーツアドバイザーが配置されたし、スポーツ施設の有効利用するため子ども達のスポーツに関わるようなことや社会教育の充実を図ってはどうか。

A 生涯スポーツアドバイザーの活動は町民の方に見えない部分があるかと思いますが、中学校のスキー部の指導もしています。また、町民の方を対象に「ゆるトレ」や、上川総合振興局と連携してスポーツ行事を開催しています。今後、活動内容など町民へ周知していきたいと思えます。

このほか、まちづくりのアイデアや行政に対するご意見・ご要望、地域の困りごとなどが寄せられました。急を要するものや後日確認が必要になるものについては、自治会の皆さんや関係機関と協議し、処理状況を関係者や各自治会にお知らせすることとします。
町政懇談会に関するお問い合わせは、総務課情報管理係（TEL 32-2421）までご連絡ください。